

## 平成25年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校1年）

### ■分析と今後の指導上の工夫

#### ・ 学校や家での学習

「勉強が好きか」については、市の平均を上回り 95%以上と肯定割合が高い。また、「勉強していて分かったり、できるようになったりすることは嬉しいか」「宿題はきちんとやっているか」については、100%の肯定的な回答をしており、学校と家庭とが連携して、学習の定着を図ってきた成果だと思われる。

「授業の始まりには席についているか」「自分から進んで勉強しているか」「普段から、不思議だなと思うことがあるか」の肯定割合は他の質問事項に比べて低い傾向にあるので、学習のルールを徹底させたり、疑問や、興味・関心をもったことに対して、広げたり、深めたりできるように授業の形態や方法を工夫・改善したり、学校生活の中で疑問をもたせたり、普段から周りのことに関心をもたせる言葉かけをしていきたい。

#### ・ 毎日の生活

「命の大切さ」「挨拶や返事の大切さ」「決まりや約束を守る大切さ」「時間や約束を守る大切さ」「友達の悪口はいけない」は全員が肯定的な回答をしており、学校生活を円滑に送るためには何が大切かを理解している。しかし、学校生活の満足度や言葉遣いについては、市の平均を下回っている。友達関係がうまくいってこそその充実した学校生活につながると思うので、道徳や学級活動の時間、教育相談、日記指導などを活用し、判断力や実践力を育てていきたい。

#### ・ 携帯電話

「自分の携帯電話を持っている。」についての肯定割合は19%と、市の肯定割合とほぼ同じである。ただ、「携帯電話を使う時のルールを家の人と決めている」についての肯定割合は市の肯定割合より低く、携帯電話を使用する際に気をつけることやルールを守ることの大切さなどについて話し合うとともに、保護者の方にもフィルタリングの大切さなどを啓発していきたい。

#### ・ 体力や健康、食事、安全

「運動することの大切さ」は全員が肯定的回答をしているが、4割弱の児童は体力に自信がなく、休み時間等に進んで運動をしていない児童も66%と高い。女子が多いことや読書が好きな児童が多いことも一因と考えられる。今後は、体育の時間や共遊の時間、スポーツタイムなどを通して、体を動かすことの楽しさを味わわせていきたい。また、外に出て体を動かす機会を作っていくようにしたい。

食事の朝ご飯は、全員がとっていて家庭の協力を感謝したい。また、夕食についても学級児童全員が家族と食事しており、今後も継続していただきたい。しかし、「食事時の正しい姿勢・正しいお箸の使い方」については、市の平均を下回っている。家庭に啓蒙すると同時に、給食指導の場での指導を継続したり、学級活動の指導に位置づけたり、指導を強化していきたい。

安全については、「交通ルールを守っているか」は、全員が肯定的な回答をしているが、「知らない人から自分の安全を守るようにしているか」「自分や周りの人たちの安全に気を付けるようにしているか」については、市の平均をやや下回った。交通安全だけでなく、不審者や災害安全についても、避難訓練や学級活動などを有効に活用し、指導していきたい。